

2024 11/12

No.2222

毎月第2・第4火曜日発行

政経 かながわ

一般社団法人
— 神奈川政経懇話会 —



横浜DeNAベイスターズは3日、横浜スタジアム(横浜市中区)で日本シリーズ第6戦を戦い、福岡ソフトバンクホークスに大勝し、1998年以来26年ぶりの日本一に輝いた。



contents

視点点描	3
日本一の次は完全優勝を	
講演録	4
シウマイ弁当70周年 ～崎陽軒の七つの? ^{秘密} 崎陽軒代表取締役社長 野並 晃	
特集	8
人口、出生率アップ 流山市がすごい理由 コンサル視点で次々と子育て支援	
政治双眼鏡	12
止まらない政治劣化 総選挙、「与野党信任に値せず」が実態	
水谷竹秀×リアルワールド	13
米日系人強制収容の歴史	
かながわTODAY	14
10月の主な経済ニュース	

事務局だより

◇2024年11月定例講演会
11月20日(水)午後1時30分～3時
ロイヤルホールヨコハマ (横浜市中区山下町)
講師：政治ジャーナリスト・
鮫島 浩氏
演題：「激動の秋から来年夏へ 政治の激動は続く」

◇2024年12月定例講演会
＝シンポジウム・交流会
12月16日(月)午前11時～午後1時30分
メルヴェーユ (桜木町駅近く)
講師：共同通信社政治・経済・
外信部長 (予定)
演題：「2025年の動向を読む」

◇2025年1月定例講演会
1月16日(木)午後2時～3時30分
ロイヤルホールヨコハマ (横浜市中区山下町)
講師：歴史学者・
本郷 和人氏

◇2025年2月定例講演会
2月13日(木)午後1時30分～3時
メルヴェーユ (桜木町駅近く)
講師：フェリス女学院大学学
長・小檜山 ルイ氏

◇2025年3月定例講演会
3月3日(月)午後1時30分～3時
ロイヤルホールヨコハマ (横浜市中区山下町)
講師：元横浜高校野球部監督・
渡邊 元智氏

視点 点描



日本一の次は完全優勝を

ベ이스ターズが26年ぶりに日本一となった。リーグ3位で貯金はわずかに2つだったチーム。王者ソフトバンクを相手にだれも予想していなかった展開だった。

MVPを獲得した桑原将志外野手をはじめ、ジャクソン投手、ケイ投手らの活躍や、筒香嘉智外野手の復活といったさまざまなドラマがあった日本シリーズ。勝ち進

む中で地元出身の若手3人が大きく成長して、チームに欠かせない存在になってきたことが喜ばしい。

その筆頭は日本シリーズ全試合に遊撃手としてフル出場し、打率3割を残した森敬斗内野手(22)だ。桐蔭学園高時代に16年ぶりにチームを甲子園に導いたときから高く評価されてきたが、ドラフト1位で入団した地元球団では伸び悩ん

でいた。「今年結果を残せなければクビも考えた」という崖っぷちから這い上がり、高校の恩師の片桐健一監督(51)も「今までにないスター選手になってほしい」とエールを送る。

アンダースローの中川颯投手(26)は、クライマックスシリーズ、日本シリーズを通じて6試合に登板して無失点と完璧な投球を続けた。桐光学園高時代に投打の二刀流で注目を集め、立大では1年春に日本一の立役者となって、順風満帆でオリックスに入団したが、2021年から3連覇したチームで出番はなく、1年前に戦力外通告を受けた。ベ이스ターズに移籍した際、同高の野呂雅之監督(63)に「死ぬ気で頑張れ」と激励されたという右腕は、再出発の地元でようやく花開いた。

神奈川大出身の梶原昂希外野手(25)もシリーズ全6試合で安打を

放ってブレイクした。神大の岸川雄二監督(51)が「必ずプロに進む素材だ」とスカウトし、大学では1年秋からリーグ首位打者に。プロの壁にもぶつかったが、3年目でそのセンスを存分に発揮し始めた。

チームは来季、リーグ制覇しての完全優勝を目指す。ただ、今年の阪神がそうだったように連覇は本当に難しい。ベ이스ターズも3年ぶりのVだった1998年から数年後には暗黒時代に突入し、当時の球団幹部が「4、5年は同じメンバーで優勝争いを続けられる」と思っていたが、「と予想以上の早さでチーム力が衰えたことを悔やんでいたことを思い出す。

勝ち続けるための条件はいくつかあるが、次世代の突き上げは必須だろう。3人がその力となることに期待したい。

(神奈川新聞社運動部長

兼映像編集部長・真野 大樹)